生徒心得

生徒は本校の教育目的および指導方針を理解し、校訓を実践して、明朗な学校生活を営まなければならない。
生徒の日常生活のなかで心得なければならない事項はおおむね次の通りである。

I 服装等について

高等学校生徒としての本分をわきまえ、本校指定の制服を整え、常に清潔質素を旨とする。

式典等の場合には、それぞれの時期にもとづく制服を着用して出席する。

就職・進学試験のことを常に意識をし、面接試験等をいつでも受けられる、服装・頭髪等に整える。

・男子

1. 黒の標準詰襟学生服とする。本校指定のボタン（大・小）をつける。
白色のワイシャツ(本校指定のワッペン付)を着用する。カラーの付いたものを着用する。
夏季(概ね6月1日～9月末日)は夏季略装でもよい。夏季略装期間外は詰襟学生服を着用または携帯すること。
2. 科別バッジは、左襟の決められた位置につける。
3. シャツはズボンの中に入れ、ベルトをする。
4. ベルトは革製とし、色は黒で無地とする。布製のベルトやサスペンダーは禁止とする。
5. 頭髪については、常に清潔を旨とし、前髪は目、横は耳、後ろは襟にかからないこと。
6. ひげについては、伸ばすことは禁止とする。

・女子

1. 指定のブレザー、リボン、スカート及び白のブラウス、ワイシャツを着用する。スラックススタイルはネクタイを着用する。夏季略装期間(概ね6月1日～9月30日)は本校指定のベストセーターを着用すること。夏季略装期間外はブレザーを着用または携帯すること。
2. スカートの購入したときの長さで履くこと。
3. 科別バッジは、ブレザーの左襟につけること。

・男女共通

1. 服装

- ① ワイシャツは白(柄なし)を着用する。開襟シャツ、ボタンダウン等は禁止とする。
- ② セーター・ベストセーターについては、学校指定のセーター・ベストセーターのみとする。
- ③ パーカー、トレーナーまたはピステ、タートル、ハイネック等の衣料を着用することは禁止とする。
- ④ 防寒衣料、レインコートは、すべて質素な無地物とし、色は黒、紺、薄茶、グレー系統とする。
飾りの付いたものの着用は禁止とする。

2. 頭髪について

- ① 染色(茶髪、部分的なヘアーマニキュア、脱色等)は禁止とする。
- ② パーマ等での頭髪を加工、左右非対称な刈り込み、その他、不自然、奇抜な頭髪は禁止とする。

3. アクセサリーについて

- ① ピアス・ネックレス・指輪などアクセサリ等を身に着けることは禁止とする。
- ② 化粧等(装飾品、アイプチなども含む)・カラーコンタクト・つけ毛等は禁止とする。

4. 履物は次の使用区分を守り、その他は禁止する。

・登下校には、革靴・スニーカーまたは運動靴を使用する。

- ・校舎内では、学校指定の上履き用運動靴を使用する。
- ・グラウンドおよびテニスコート内では、運動靴を使用する。(スニーカーなどは禁止とする)
- ・体育館内では、学校指定の体育館用運動靴を使用する。
- ・至誠館(武道場)では、裸足または学校指定の体育館用運動靴を使用する。

5. かばん

学生用かばん、スポーツバッグ、リックサックとし、華美なものや紙袋等は禁止とする。

II 登校・下校について

東京都立蔵前工科高等学校の生徒たることを自覚し、社会道德の遵守に努めること。

1. 登 校

- (1) 遅刻，欠席のないように努める。
- (2) 始業時刻，終業時刻は別に定める。
- (3) 免許書を有する乗り物(オートバイ)や電動付き○○での通学は禁止とする。
ただし、電動付きアシスト自転車は例外とする。

2. 下 校

最終下校時刻は17時00分とし、定時制の授業の妨げにならぬように下校をする。

3. 無断早退，外出の禁止

始業時刻から終業時刻までは無断での早退，外出は一切認めない。やむを得ず外出する際は、その理由を外出届に記入し、学級担任または、関係職員の許可を得る。外出届の様式は任意とするが、必ず印鑑のあるものとする。

(早退の届け出の方法は、V. 遅刻・早退・欠席・忌引・休学についてを参照のこと)

III 学校内の生活について

1. 常に安全を心掛ける。
2. 静粛に努める。
3. 整理・整頓に努め、清潔美化を心掛ける。自発的に清掃に協力し、清潔な環境を保つように努力する。
4. 暴力行為は理由の如何にかかわらず認めない。
5. いじめ、もしくはいじめと思われる行為は認めない。
6. 設備・備品等については大切に扱う。器物破損の場合は速やかに担任、または管理責任者へ届け出る。
事情によっては個人負担となる。
7. 学校の内外を問わず、飲酒喫煙を禁止する。喫煙器具や電子タバコ等の所持やノンアルコール飲料等も禁止とする。
8. 麻雀及びギャンブル性のある遊技は禁止とする。
9. ロッカーには鍵をかける。
10. 高価なものや学業に不要なものは持ち込まない。持ち物は各個人の責任のもと管理を行う。
11. 携帯電話等の通信機器については、授業の妨げにならないように電源を切っておく。
12. 教室や廊下等運動施設以外でのボール遊び等は禁止とする。
13. 放課後の教室や実習室の使用は、学級担任または、管轄する教職員の許可を必要とする。
使用していた施設を最後に出る者は、窓等の戸締り、消灯を確認してから下校する。
14. 実習室等において火気を取り扱う場合は十分に注意するとともに、消化されているかを確認して退室・下校をすること。

15. 体育館（ステージも含む）・グラウンドを無断で使用しない。使用についてはすべて、管理責任職員の指示に従い、体育館・グラウンド使用帰規約を守る。
16. 体育館（ステージも含む）・グラウンドでの食事は禁止とする。
17. 自販機の取り扱いについて
 - (1)自販機を大切に扱う。
 - (2)休み時間・放課後以外は、購入しない。（授業に支障をきたすような時間帯に購入をしてはいけない。）
 - (3)空き容器は、分別して処理する。
 - (4)使用に関して問題が生じた場合は、使用を禁止し、指導期間を設ける。それでも使用状況が改善されない場合は、販売を停止する。
18. カップ麺を校内に持ち込むことを禁止とする。
19. 校内に掲示物の掲示を行う場合は、生活指導部または生徒会の承認を得なければならない。
20. 図書館の利用については、「図書館利用規定」を守る。
21. 保健室の利用については、「保健室利用規定」を守る。なお、病気・外傷等で早退する場合は、担当教職員の指示を受け、学級担任の許可を得る。帰宅後必ず学級担任に連絡を行う。
22. 自転車について
 - (1)自転車通学を希望する生徒は、自転車通学届を提出すること。
 - (2)自転車の規定については、「自転車通学に関する規定」を守る。
23. 休日・休業日において学校施設の無断使用を禁止とする。

IV 学校外の生活について

1. 学生であることをわきまえ、自覚し、行動をすること。
2. 交通事故・街頭補導・不良行為による被害などの事実があった場合は、その大小にかかわらず速やかに学級担任または学校に連絡をする。特に休日または休業中は機を逸することなく連絡をする。
3. アルバイトは原則として禁止とする。

V 遅刻・早退・欠席・忌引・休学について

1. 遅刻・早退・欠席の場合は原則として、保護者が事前に Classi 等を活用して学級担任に連絡する。
なお、直接学校に保護者が電話連絡でも構わない。
 2. 緊急の場合については、本人・保護者が学校に電話連絡を行う。
 3. 予測しない遅刻については登校後、速やかに授業担当の職員にその事情を告げ、授業終了後、学級担任に必ず届け出ること。
 4. 登校後、やむを得ぬ事情で早退する必要があるときは、必ず学級担任に届け出て、許可を得てから下校をする。帰宅後必ず学級担任に連絡を行う。
 5. 休学については、保護者から学級担任に連絡をし、速やかに手続きをとる。
 6. 忌引きについては次の通りとする。
 - 1) 父母 7日以内
 - 2) 祖父母 3日以内
 - 3) 兄弟姉妹 3日以内
 - 4) 伯叔父母 1日以内
- *ただし、遠方の場合は往復に要する日数を考慮する。

VI 定期考査について（諸注意）

1. 指定された座席に座る。
2. 机の中はからにする。
3. 筆記用具と持ち込み可の指示があるもの以外は、かばんに入れる。筆箱の使用はできない。
4. 携帯電話等通信機能のある電子機器は、電源を切り、かばんに入れる。電源を切ることができない電子機器については、廊下にある自分のロッカーに入れ、試験に支障が出ないようにする。
5. 教科書ノートなどはカバンに入れ、かばんは口を閉めて椅子の下に置く。
6. 消しゴムその他の貸借は一切禁止とする。
7. 不正行為は絶対にしない。（下敷きの使用は不可）不正行為については厳しく指導する。
8. 原則として途中退出は認めない。
9. 遅刻したものは残余の時間で受験する。
10. 正当な理由なく欠席したものはその教科の追考査等を認めない。
11. 監督の先生の指示に従うこと。
12. 考査に関係のないものは、カバンにしまい、考査中はさわらないこと。

VII 礼儀について

学校生活において、互いを尊重し合い、友人間においても礼儀を尽くす。蔵前工科高校生としての誇りを持ち、常に服装・態度・言動などに注意を払う。

VIII 休日、休業中における学校施設の利用について

休日、休業中における学校施設の利用については、必ず事前に担当教職員の許可を得ること。特に登下校の時間は厳守すること。